

## 韓国の新幹線「KTX」に乗って

11/5～7、地球環境関西フォーラム主催による清溪川視察旅行に行ってきました。視察そのもののレポートは後日と言うことで、まずは冬ソナの・・・と言いたところですが、このあたりの事前知識もなく、その代わりと言うか今年4月に開業したばかりの韓国版新幹線KTXに乗ってきましたので報告します。2泊3日の最終日の限られた時間でしたので、買い物の時間を残しながらあわただしく一駅分だけ乗って来ました。

## ソウル駅

KTX開業に合わせ、空港かと思えるような駅舎に生まれ変わっていました。もともと大きな駅舎でしたが、閑空ばりのトラス構造の大屋根がより大きな空間を感じさせます。

ホームは在来線のど真ん中。2Fからのアクセスとなります。当然自動改札ですが、いきなり「ピンポンピンポン」。KTXでは飛行機のように出発15分前にならないとホームに入ることができません。



旧ソウル駅

確かに出発案内板には複数の列車案内が表示されていましたが、我々の列車のランプは点滅していませんでした。ダイヤの間隔が15分以上なので可能ですが、密になったときはどうするのでしょうか？

出発案内板





ソウル駅構内  
(中央がK T X用)

### 時速300kmの体験

列車は動力車をいれて20両、388mの長さです。さあ出発。しかしいつまで経っても300km/hなんてスピードになりません。

実は我々が乗った区間のほとんどが在来線区間だったからです。車内は1列4席ですが、新幹線のように席を回転させることができません。

ちょうど真ん中で席の向きが反転するため、必ず半分は進行方向とは逆になります。逆方向を向いた席では目まいを訴える乗客が続出したといったこともあったとか・・・。(後で知ったのですが、逆向きの席は料金が5%引きだそうです。)



K T X のやや無  
骨な面構え

## 光明駅

ソウル駅から 22km 離れた光明駅が我々の終点です。わずか 16 分、料金は 10600 ウォン（日本円で 1/10 の 1060 円）でした。切符を買うときの駅員の怪訝な顔も当たり前。大阪からだが高槻くらいですから、新幹線に乗るはずがない。

光明駅は新駅で、ソウル駅にも負けず劣らずの偉容ぶり。大きな駅の割には本当に人っけがありません。駅の外も周辺には建物もなく、大きな駐車場があるだけでした。もしかして岐阜羽島駅のような・・・？

往復にして 1 時間ちょっとのプチ旅行でした。



チケット



光明駅構内（線路が 6 本）



駅舎を覆う大屋根



駅の周辺（駐車場意外に建物は見あたらない）